

添付書類① 事業内容、事業の効果に関する写真

1. 「母子保健ボランティア」の育成と戸別訪問推進活動



母子保健ボランティアを対象にしたリフレッシュ・トレーニングの様子。州保健局の母子保健担当者が講師となって PHJ と協働した。母子保健ボランティアが身につけるべき母子保健知識の内容全体をおさらいし、実際のコミュニティ活動で出た課題を話し合い、解決策を考える等、実践で役に立つ研修を実施しました。



活動モニタリング（母子保健ボランティアの戸別訪問）の際の保健センタースタッフによる現場指導の様子。

現在では、PHJ 主導ではなく保健センター助産師が主導して活動モニタリングを実施するようにしています。

2. 水と衛生推進活動



衛生プロモーターへの衛生教育の様子。(身体衛生) 身体衛生教育では手洗い指導を中心に実施しました。村での手洗いは不衛生な水を使い回す、石鹸を使わないなどが散見されるため、手洗いの基本を学習します。



今年度支援のティボー地区 60 世帯全員にトイレ資材を配布しました。各世帯でトイレ建設も順次始まっています。

3. 村での保健教育活動



村での保健教育の様子。
保健センタースタッフと保健ボランティアが協働し、村人に対して保健教育を行っています。最近では PHJ の支援なしで単独で保健教育を行えるボランティアが多くなりました。



保健教材(保健紙芝居)ワークショップの様子。(テーマは、HIV/AIDS、結核)
ワークショップでは保健センタースタッフによる教材の内容解説、教材の使い方や保健教育での話し方の練習を実施しました。

4. 村と保健センターとのネットワーク支援



村での保健ボランティア会議(左)と伝統的産婆会議(右)の様子。保健センタースタッフが中心となって会議進行しています。



5. 搬送サービス導入



搬送サービス運営委員会。月に一度集まり、搬送ケースの報告、資金収支額の確認、問題の共有を行います。



タノッチュム地区での村会議。定期的に搬送システムの課題を村の利用者と話し合う場を持っています。



新搬送システムの保健ボランティア向け説明会の様子。
搬送システムの運営方法、保健センターから病院への搬送料金、近隣に村から選出するボランティアドライバーを決定しました。



ティポー保健センターでの搬送システムの記録管理トレーニングの様子。

搬送システムの規約の確認や、記録表の付け方（月間の資金の収支表や、搬送数、どのような搬送ケースだったか等の記録）の練習を行いました。